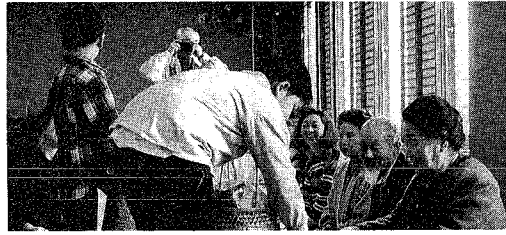


一人暮らしの方へ

手をつなぐ
親の会



3月6日、一人暮らしの老人の方へのプレゼント会が行われました。毎年恒例のこの行事。今年も手をつなぐ親の会のみなさんと子ども達、ほほえみ作業所のみなさんが作ったエプロンや、お守り等をプレゼント。代表として参加したおじいさんは、まごころのこもったプレゼントのお札に歌を披露するなど、なごやかな一時を過ごしました。

消防庁長官表彰受彰



小須戸町消防団第四分団
分団長 高山 三市さん(新保三)

高山三市さんが永年の消防活動の功績が認められ、三月三日消防庁長官より永年勤続功労章として表彰されました。高山さんは、昭和四十二年四月に消防団に入団、班長、部長、副分団長、分団長を歴任し、二十八年にわたり消防活動に尽くされ、その功績が認められたものです。今後も住民の生命、財産を守ることを任務に一層の精進が期待されています。

まだまだ若い!



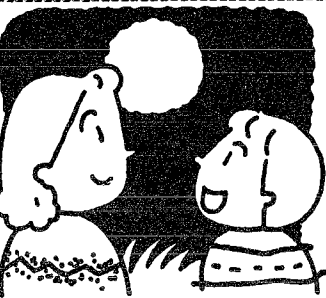
第17回お楽しみ大会

2月24日、老人クラブのお楽しみ会がありました。「まだまだ若いわよ」とばかりに、歌や踊りを披露し、満員の会場は笑顔であふれていました。体に気をつけて、また来年に向けて、練習を開始してください。

一足早く春の便り……



日本ボケ協会主催の「日本ボケ展」が3月3日～5日まで開催されました。会場には約二百五十点の出品があつたほか、一万鉢の即売品が展示され、町内外から来館した愛好家のみなさんの目を惹かせていました。なお、町内在住の入賞者は次の方々です。
農水大臣賞 加藤清衛さん
林野庁長官賞 加藤政明さん
小須戸町長賞 長沢信善さん
中東浦原農業改良普及センター所長賞 古川金作さん



「みどりの週間」です。この機会に自然に親しみ、その恵みに感謝し、緑の大切さを考えてみませんか。

やりした輪が月の周りにでき、月がぼやけて見えるのです。朧月は、温暖前線が生み出す大自然の優美な現象といえます。朧月を生み出した温暖前線が日本から去ると、代わりに寒冷前線が入り込んできます。これは雨をもたらす前線です。このため、朧月が出たら、西のほうから天気は下り坂になるという傾向があります。月ばかりでなく、春は朧の季節です。星や都会のネオンも朧に見えの気がしますね。ところで、四月は緑の季節。毎年四月二十三～二十九日は「みどりの週間」です。この機会に自然に親しみ、その恵みに感謝し、緑の大切さを考えてみませんか。

"元気のでる" "リハビリ教室"に参加しませんか

思いがけない病気やケガにより障害が残ると、もう何もできなくなったとあきらめてしまいがちです。

「リハビリ教室」では、同じ仲間同志で、楽しみながら体を動かしてリハビリを行っています。

家では寝たり起きたりしている方も、この教室では生き生きとして、どんどん元気をとり戻していらつしやいます。

家に閉じ込めりがちな方は、ぜひご参加下さい。

参加を希望される方は、4月20日までに、保健婦へ申し込んでください。☎38-3111

(内線31・32番)

〈会場〉保健センター内「集団

検診室」他(送迎あり)

〈担当〉保健婦、保健衛生係、



看護婦、指導員、医師(年3回)、理学療法士(年5回)、ボランティヤ

〈日程〉毎月1～2回、主に午後1時30分～3時30分

〈内容〉健康のチェック

・リハビリ指導

・医師の指導

・作品づくり

・ゲーム

・遠足(水原町瓢湖)

・季節の行事(笹団子

づくり・ミニ運動会

・クリスマス会・お

正月お楽しみ会等。

町では、親同志・子供同志の仲間づくりと、親子で楽しく遊ぶことを目的とした「あそびの広場」を開催いたします。

「近所に一緒に遊ぶ友達がない」「子供とどうやって遊んだらいいかわからない」など心配をお持ちの方はぜひご参加下さい。

参加を希望される方は、4月12日(休)までに保健婦まで電話で申し込んでください。

☎38-3111

(内線31・32番)

〈会場〉役場保健センター

ふれあい会館(矢代田)

〈時間〉午前9時30分～11時

〈対象〉保育園入園前の子供と

その保育担当者

〈内容〉季節に応じた行事や遊

び・親子遊びなど

"親子で楽しく仲間づくりを" "あそびの広場"のご案内



(2～3才を対象とした内容になります)

お母さん方に会の中心

となつてもらい、保健

婦、保母がお手伝いし

ます。

〈もつてくるもの〉

子供のおやつ、飲み物

(水か番茶)

〈ふれあい会館〉〈役場保健センター〉		
H7年 5月19日(金)	H7年 4月20日(休)	10月3日(火)
7月18日(火)	5月9日(火)	11月1日(木)
9月20日(水)	6月6日(火)	12月14日(木)
11月21日(火)	7月5日(水)	H8年 1月25日(木)
H8年 2月21日(休)	8月2日(水)	2月6日(火)
3月21日(木)	9月6日(火)	3月5日(火)



おぼろ
朧月

照りもせず 曇りもはてぬ春の夜の 朧月夜に しくものぞなき

(新古今和歌集・大江千里)

朧月は、短歌や俳句の季語としてばかりでなく、いろいろな詩歌の題材としても親しまれてきました。とりわけ、「菜の花島に……」ではじまる文部省唱歌『朧月夜』

朧月というと、この歌を思い出す方も多いと思います。そこはかとなく春の気配が忍び

寄る朧月は、えもいわれぬ風情があるものです。ところで、なぜ朧月は春に見られることが多いのでしょうか。これは、温暖前線と関係があります。この前線が日本に近づくと、空の上層にうっすらとペールがかかったような巻雲や高層雲ができます。これらの雲に含まれる雨水の結晶に月の光が当たり、ぼん

ぼんやりした輪が月の周りにでき、月がぼやけて見えるのです。朧月は、温暖前線が生み出す大自然の優美な現象といえます。朧月を生み出した温暖前線が日本から去ると、代わりに寒冷前線が入り込んできます。これは雨をもたらす前線です。このため、朧月が出たら、西のほうから天気は下り坂になるという傾向があります。月ばかりでなく、春は朧の季節です。星や都会のネオンも朧に見えの気がしますね。ところで、四月は緑の季節。毎年四月二十三～二十九日は「みどりの週間」です。この機会に自然に親しみ、その恵みに感謝し、緑の大切さを考えてみませんか。